

【ねがいましては】

第96号

平成9年6月27日

共和珠算学習塾

「人の幅」

私たちの毎日の生活、行動範囲はごく限られたものになっています。職業や年齢などでも様々に変化すると思われます。その範囲を直線で結んでいくと、結構単純な漬けイになりそうです。長短の違いはあっても、スタートとゴールは同一地点が一般的になるのでしょうか。パイロットをされている方は、それこそ長~いものになりますし、自宅を店舗にされていれば、ひょっとすると、「点」になって見えるかもしれません。学校へ通っている方たちは、ほとんど2カ所の往復。

行動の幅は、それぞれの方々だけの幅、行動範囲が「人の幅」の形成に大きな影響を与えることにはあまり関係がないかもしれません。

では「人の幅」に最も大きな影響を与えるものは何?

私は多くの方々に出会うこと、その方々からどれだけ多くの感動をいただいたかで限りのない広がり方をするのではないかと思います。その出会い方は、生身の人には会うこともそうなのですが、書物などからいたたくものも同様ではないかと思います。あの方のあの生き方に感動を覚えた。あの方のあの「一言」に人生を変えられたなど・・・。

それが仕事など、営業などで出会うとは少々スタイルが違います。自らが目の前にいる方から自分の中に受け入れようとする「こころ」があって「人の幅」かな?

子どもたちの成長に欠かせないもの。勉強はもちろんですが、私は人との出会いなのかもしれませんと感じています。それも普段の生活の場ではなく、いつもと違う場所・・・なんて考えていたら、そうか、キャンプがそうなのかもしれません・・・。

毎年、私たちが伺うキャンプ場には、川崎市の某養護学校の皆さんのが家族同伴で訪れます。大型バス2~3台、引率の先生方も数十人態勢です。今までに何度も一緒にキャンプファイヤーなどに加わらせていただいたりしながら、「ひと」に出会ってきました。普段の学校生活では出会うことのできない方々です。その方々に共通して感じられるもの・・・。

「素直」です。つまり心に影日向をつくろうとしない「素」の姿を全身で発出します。私はその姿に出会うたび、全身に鳥肌が、心に鳥肌がたちます。

今年も会えたらしいな、なんて思いながらキャンプ場へといあさせてみると、今年はタッチの差で日取りがすれ違いだとか・・・。でも、私の友人のそろばん教室さんが来られるとのことで、いっちよう野球(ゴムボール)の試合でも申し込んでみようかとか、今年は小学生のチビさんたち専門で料理を担当してみようかなどと、いろいろ策が浮かんできます。

何をやっても「学び」です。子どもたちが目を輝かせながら夢中になっている瞬間は、すべて「学び」です。

人生の新しい「直線」が引けたなら、それは紛れもなく「学び」・・・。単純な往復運動では身につくことのできないものです。子どもたちにピッタリ似合う「背景」は、やっぱり「自然」です。自然にやさしく抱かれながら精一杯に「生」をみなぎらせる子どもたちがやっぱりバランスのいい光景だと思います。

こんな環境の中で成長を重ねていく子どもたち・・・「人の幅」が思いきり広がる瞬間ではないでしょうか。

そろそろキャンプのPRでも始めようかな、なんて思いはじめました。